

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 三井住友銀行 川西支店 | 階数 | 地上5F塔屋1F |
| 建設地 | 兵庫県川西市小花一丁目254番1、2 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域 | 平均居住人員 | 553 人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 3,330 時間/年 |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年3月 予定 | 評価の実施日 | 2015年2月16日 |
| 敷地面積 | 669 m ² | 作成者 | 小早川朋久 |
| 建築面積 | 562 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 2,824 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: 100, A: 3.0, B+: 1.5, BEE=1.0, B: 0.5, C: 0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 敷地の南西面が交差点に接する立地から、外装はPC版による水平庇と軽量のH型鋼による縦ルーバーによって統一し、強い日差しを遮りつつ、店舗の構えを大きく見せる計画とした。また主となる接客ゾーンを2階以上に配置し、1階はATMコーナーのみとしてオープンなスペースを最大限確保。様々なイベントを可能にする新型店舗モデルに沿った計画とした。 | 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 |
| Q1 室内環境 外装にPC版による水平庇と軽量のH型鋼による縦ルーバーを設け、さらに窓の内側にブラインドを設けることで快適な光環境を実現。 | Q2 サービス性能 階高を高めに設定することで、十分な設備スペースとゆとりある執務空間を実現。 |
| LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量、年間熱負荷係数をレベル4以上相当の設備機器を備えている。 | LR2 資源・マテリアル 営業室周りのインテリアは木目基調としており、エスカレーター及びエレベーター前のルーバーには杉の集成材を使用。 |
| | Q3 室外環境 (敷地内) 敷地形状に添合わせた建物形状として、配慮しました。また主となる接客ゾーンを2階以上に配置し、1階はATMコーナーのみとしてオープンなスペースを最大限確保。様々なイベントを可能にする新型店舗モデルに沿った計画とし |
| | LR3 敷地外環境 周囲の景観に調和するよう外周は白色の縦ルーバーを基調とすることで、周辺との統一感を持たせます。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される